

科目名		就職実務II			
担当教員		目黒 敬也		実務授業の有無	有
対象学科	建築大工科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形式	講義	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方		1. 就職活動のスケジュールを把握させ、計画的に活動できるよう指導する。 2. 社会生活で最も重要なコミュニケーションについて考え、その能力をアップする 3. 実際の就職活動に対する、個別指導。 4. コミュニケーション検定取得のための対策。			
学習目標 (到達目標)		①社会人としてのマナーとルールを身につけている ②社会生活で最も重要なコミュニケーション力が身につけている ③コミュニケーション検定の取得と就職内定			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		SUCCESS、配布プリント			
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	コミュニケーションとビジネスマナーの基本-1 ①目的に即して聴く ②傾聴・質問する ③目的を意識する ④言葉を選び抜く		方法：教材を使って説明、ロールプレイングなどを通して正しい動作を学習する。 達成目標：①～④ができるようになる。		
2	コミュニケーションとビジネスマナーの基本-2 ①来客対応 ②電話対応 ③クレーム対応 ④名刺交換 ⑤チームコミュニケーション		方法：教材を使って説明、ロールプレイングなどを通して正しい動作を学習する。 達成目標：①～⑤ができるようになる。		
3	コミュニケーションとビジネスマナーの基本-3 ①ビジネス文書の書き方 ②年賀状の書き方 ③アポイントメント・訪問・挨拶 ④情報共有		方法：教材を使って説明、企業における各対応やコミュニケーションの応用力を学ぶ。 達成目標：①～④ができるようになる。		
4	就職活動状況の共有・個人面談		クラスの就職活動情報共有しながら、特に活動に問題のある学生を中心に個人面談を行う。		
5	実践行動学 PART3		実践行動学を通じ、社会に適應できるようになる。		
6					
7					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
評価テスト等	取組姿勢			内定に結びつけたための就職活動の支援と、社会人になってからのマナーの重要性を学ぶ。また、実際の就職試験を踏まえた対応を行うため、個々の就職活動状況の把握をするとともに、個別対応も同時に行っていく。但し、あくまで、自律的な活動を促すことを指針とした指導とする	
80 %	20 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建築大工として約5年実務に携わる			